

世界のビジネスエリートが身につける教養

「西洋美術史」(第3土曜)

講師 西洋美術史家 木村泰司

社会がグローバル化するなか、特に欧米のエリート階級にとって必須の教養であり、コミュニケーション・ツールになっているのが西洋美術史、すなわち美術に対する造詣です。美術を知ることは、その国の歴史や文化、価値観を学ぶことになります。古代から近代までグローバルな「共通言語」である西洋美術史を三年にわたりたどります。



©高木昭仁

◆日時 第3土曜日 13:30～15:00

◆受講料 会員22,704円(税込)/教材費660円(税込)6ヶ月6回分 (入会金5,400円/70歳以上無料)

<今期カリキュラム>2019年10月～2020年3月

10/19ギリシャ美術と古典主義	1/18ゴシック美術と国際ゴシック様式
11/16エトルリア美術とローマ美術	2/15初期ネーデルラント絵画(前編)
12/21初期キリスト教美術とロマネスク美術	3/21初期ネーデルラント絵画(後編)

※日程は変更になることがあります。お手続きの際にお渡しする受講票にて再度ご確認ください。

<講師紹介>木村泰司(きむらたいじ)

西洋美術史家。1966年生まれ。米国カリフォルニア大学バークレー校で美術史学士号を修めた後、ロンドンサザビーズの美術教養講座にてWORKS OF ART 修了。ロンドンでは、歴史的なアート、インテリア、食器等本物に触れながら学ぶ。『世界のビジネスエリートが身につける教養「西洋美術史」』(ダイヤモンド社)、『名画の読み方 世界のビジネスエリートが身につける教養』(ダイヤモンド社)、『印象派という革命』(ちくま文庫)、『名画は嘘をつく』シリーズ(大和書房)など、著書多数。

***お申し込みは、2019年8月21日(水)9:30より開始いたします(予定)**

お申込み・お問い合わせは下記にて承っております。お気軽にお問い合わせください。

世界のビジネスエリートが身につける教養 西洋美術史(第3土曜)

※3年間36回を予定しております。

※お申込みは1期(6ヶ月)ごとに承ります。途中受講も可能です。

※講座内容は第3日曜クラスと同じカリキュラムです。

<カリキュラム予定>

2019年10月期(2019年10月～2020年3月)

1. ギリシャ美術と古典主義
2. エトルリア美術とローマ美術
3. 初期キリスト教美術とロマネスク美術
4. ゴシック美術と国際ゴシック様式
5. 初期ネーデルラント絵画(前編)
6. 初期ネーデルラント絵画(後編)

2020年4月期(2020年4月～2020年9月)

7. 北方ルネサンスとフォンテーヌブロー派(前編)
8. 北方ルネサンスとフォンテーヌブロー派(後編)
9. イタリア初期ルネサンス美術(前編)
10. イタリア初期ルネサンス美術(後編)
11. イタリア盛期ルネサンス美術
12. ヴェネチア派

2020年10月期(2020年10月～2021年3月)

13. マニエリスム
14. イタリア・バロック美術(前編)
15. イタリア・バロック美術(後編)
16. スペイン・バロック美術
17. フランドル・バロック美術(前編)
18. フランドル・バロック美術(後編)

2021年4月期(2021年4月～2021年9月)

19. フランス・バロック美術
20. 17世紀フランス古典主義(ニコラ・プッサン)
21. 17世紀フランス古典主義(クロード・ロラン)
22. 18世紀フランス美術:ロココ絵画1
23. 18世紀フランス美術:ロココ絵画2
24. 18世紀ヨーロッパ美術

2021年10月期(2021年10月～2022年3月)

25. 永遠のヴェルサイユ:ルイ14世時代
26. 永遠のヴェルサイユ:ルイ15世時代
27. 永遠のヴェルサイユ:ルイ16世時代
28. 17世紀オランダ絵画の黄金時代1
29. 17世紀オランダ絵画の黄金時代2
30. 17世紀オランダ絵画の黄金時代3

2022年4月期(2022年4月～2022年9月)

31. 19世紀フランス絵画(新古典主義とロマン主義)
32. 19世紀フランス絵画(バルビゾン派と近代絵画)
33. 印象派と後期印象派1
34. 印象派と後期印象派2
35. 18世紀イギリス美術史
36. 19世紀イギリス美術史